城北

平成27年5月1日現在

総世帯数	3,530
総人口	7,718
男	3,674
女	4,044

地区発見

同心町会

同心の詰所があったから同心町

善光寺街道入口の町

同心町は、松本城下の北口を守る十王堂と木戸が安原にあり、この木戸を守る同心の詰所が町にあったからと言われています。

享保9年に編纂された『信府統記』によると、御堂町（現堂町）から善光寺街道沿いの萩町に出る筋に同心町があると記されていて、北隣の口張町と同じく武士が住んでいた所でした。

明治7年に筑摩県に提出した北深志町改称願によると、当時の同心町は44世帯238人でした。

明治45年の裏町から出火した火事では、堂町や西町ともに、武家屋敷や土蔵なども焼けてしまいました。

戦争後一時戸数・人口とも増えましたが、老朽化した家屋が取り壊されて駐車場や空き地になり、約60世帯余り、80人ほどのこじんまりした町会になりました。

アパートと日本家屋が同居する街並みとなっていますが、その一角に「男装の麗人」と言われた川島芳子が女学生時代に過ごしたと言われる家が草に埋もれひっそりと建っています。

地区を越えて連帯

昭和61年に同心・口張それに地区を越えて萩町の三町会が共同で萩町交番の跡地に「北深志三丁目公民館」を建設し地域の活動拠点となりました。

昭和55年から体力づくりを兼ねて三町会一周のウオーキング会を毎週開いていましたが、始めの頃は70人ほどいた参加者が30年経った平成22年には2人になってしまい一区切りをつけました。

また少子高齢化の波は、他町会と同じく避けて通れず、ここ数年は赤ちゃんが生まれたという嬉しいニュースが聞かれないと言うことです。

児童数の少ない三町会がひとつになって子ども会を作り、青山様や三九郎などで交流を深めています。青山様などで久しぶりに子どもたちの元気な声が静かな町内に響くと、お年寄りたちが玄関まで出て目を細めて見送る姿が見られます。

町会長は「70代以上の方が多くなり町会の役員をお願いするのは心苦しいのですが、皆さんに頑張って頂いてどうにか運営しています」と苦しい胸の内を話していました。

城北らしい地域づくりに向けて

城北地区
地域づくりセンター長
黒田　明浩

城北地区地域づくりセンター長として着任しました黒田明浩です。微力ではございますが新たなる意欲をもって明るく住みよい城北地区のまちづくりを推進するために努力するつもりです。

城北地区では既に「城北地区住みよい町づくりを進める会」を中心に地区のみなさんが主体となって、様々な先進的な地域づくりの取組みがなされてきました。本年度は、これまでの活動を生かし、更に地区全体が一体となって地域づくりに取組む体制を整えるため、**「城北地区住みよい町づくり協議会」**の設立に向けて準備をしています。

協議会は、超少子高齢型人口減少社会の進展による、社会構造の変化を見据えた城北地区のまちづくりを進めていくうえで、地区の柱となる組織となり、10年先20年先も地区のみなさん一人ひとりが安心していきいきと暮らせるまちづくりを目指して、将来的には、今活動している各団体の活動も横断的に包括して、一体的に取組む体制を目指します。

今盛んに「地域包括ケアシステムの構築」ということが言われていますが、**「地域包括ケアシステム＝地域づくり（まちづくり）＝地域福祉の推進」**という、言葉は違っても、「お互い様」の精神で、誰もが安心していきいきと暮らせる城北地区を目指し、地区のみなさんが主体的に課題解決に向かって取組んでいただくことに変わりはなく、「城北地区住みよい町づくり協議会」を中心に、今後の取組みを、地区の実態と将来変化を見据えることによって充実させ、具体的に進めていくことが、城北地区の「地域力」の更なる向上に繋がるものと考えています。

今後、協議会を中心とした地域課題の掘り起し、解決に向けた地区のみなさんの取組み等をお手伝いさせていただきながら、地域づくりセンターの役割を果たすべく、城北地区の「地域の健康」のためにみなさんと一緒に取組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

旭町小学校

═新しい校長先生に聞く═

旭町小学校にこの4月から鏡味洋子先生が長野市の浅川小学校から新任の校長として赴任して来ました。

鏡味校長は長野市の出身で母親を始め身内に教師が多かったことから子どもたちの教育に携わる教師を志し、大町市の仁科台中学校から教師としてスタートを切りました。

その後長野市や松本市の明善や丸ノ内中学校などに勤務しました。又この間指導主事として教師の指導にもあたりました。

4月3日の入学式では「あ」の字を揚げ「元気にあいさつをする」「ありがとうを言う」「あかるい笑顔を絶やさない」

そして「あんぜんに登下校する」と、4つの「あ」の字の約束をしました。

旭町小学校での第一印象は「誰もが相手の眼をしっかり見て受け答えをする」「自分の意見を言葉として表現するなど、積極的な態度が素晴らしい」「6年生が困っている下級生の面倒を自然に手助けするなど全校の児童の心を通わせる姿に感銘した」とも話していました。

また、東は横田から西は沢村、南は西町、北は松岡までの通学区を1日かけて自転車で巡り、地域の実情を見聞しましたが、その距離は11㎞もあり、疲れたそうです。

学校の目標は「やさしく・かしこく・たくましく」です。「これまで築いてきた校風とともに、全校368人が素直で積極的な行動力をもった児童になるような教育に心掛けたい」と、抱負を語ってくれました。

「鏡味」という苗字は全国的にみても珍しく、名古屋の熱田神宮に仕えた社家にまで遡るということですが、鏡味校長は明治時代以前に関西地方から松本に引っ越して来た、と聞いていると話しました。

ぶらぶらと町歩き

お花見を満喫

昨年度より始まった「街中探検隊」が冬場に活動を休止していましたが、今年もまた実施します。足の向くまま気の向くまま城北地区内を軽い気持ちで散策し変わりゆく街並を見たり、四季折々の植栽を眺め、お宅を訪問してお話を聞く等します。又昨年訪れた場所が今年はどう変わったのか変わらないのか等勝手気ままに歩きます。

4月24日には前年見学のお約束をした、大正時代に建築された田町町会の新村邸を訪問し、ギョイコウ・キザクラ・シラタエ等満開の桜に囲まれ街中での豪華なお花見と植物談義に花を咲かせました。

いちごの風

▶沢村1丁目公園

◀旭町中 入学式

附属小 入学式▼

◀開智小 入学式

西町公園▲

附属中 入学式▼

▶旭町小 入学式